

課題番号	応募者名	事業名	評価者の主なコメント	評価者のコメントに対する回答
J1801	東急建設株式会社	最終処分場再生を目的とした先端脱着式鋼管ケーシングによる好氣的改善技術の開発	安価なボーリング技術としては目的は達成していると思われる。	既存技術では工期、コストがかさむ、深度20m以上の井戸構築技術としては大世の目標は達成できたと思っております。
			研究課題(好氣的改善…)については未達とみられる。	ご指摘のとおり好氣的改善についての検証は未達でありました。ただし内部保有水の高い処分場においては、その水位を下げることで好氣的転換への期待が持てると思っております。
			既存処分場のモニタリング等用の鋼管ケーシングの施工技術として、経済性と工期短縮は効果が高いが、より応用開発が望まれる。	ご指摘のとおりであります。H19年度において通気井戸の構造、配置間隔による効果の検証等実施しております。
			処分場に関する情報が少ない。	ご指摘のとおりでございます。今後処分場の履歴調査、廃棄物性状調査等詳細について明確にしながら事業を進めていきたいと考えております。